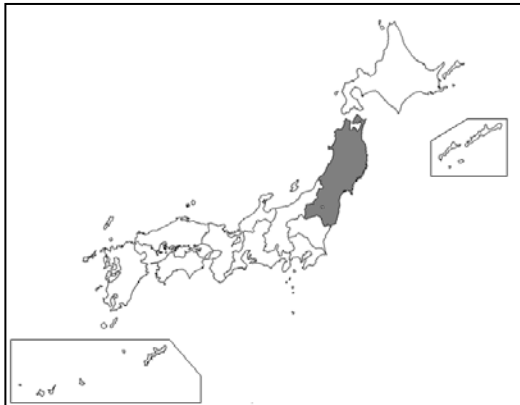


(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

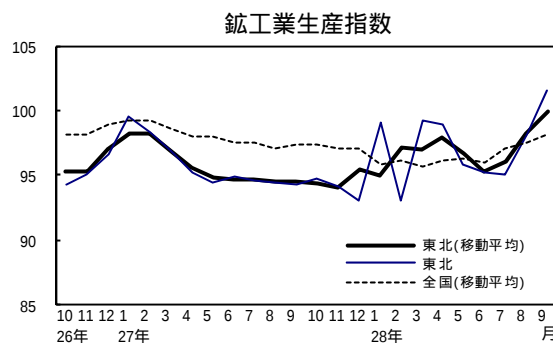
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 8 月)	今回 (平成 28 年 11 月)	
景況判断	弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	↑
鉱工業生産	このところ弱含み	持ち直しの動き	↑
個人消費	持ち直しの動きが続いているものの、足踏み	足踏み	↓
住宅建設	減少	おおむね横ばい	↑

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

7～9月期は、電子部品・デバイスは、スマートフォン、自動車用のコネクタ等が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置が堅調なこと等から増加した。食料品・たばこは、水産加工食品等が減少した。情報通信機械は、携帯電話・PHS等が減少した。輸送機械は、乗用車等で減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

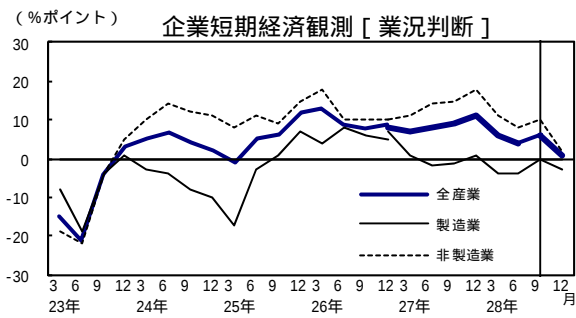
	付加価値 ウェイト	生産				
		4～6 月期	7～9 月期	7月	8月	9月
電子部品・デバイス	16.9	4.0	2.9	1.7	1.3	4.2
はん用・生産用・業務用機械	14.7	1.7	11.1	2.3	10.2	3.7
食料品・たばこ	10.6	1.8	▲3.2	▲0.3	2.9	▲2.1
情報通信機械	9.2	▲5.0	▲5.1	▲15.4	10.5	▲3.6
輸送機械	8.3	6.9	▲5.1	▲3.9	0.4	2.6
鉱工業	100.0	▲0.5	1.7	▲0.2	3.3	3.6

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

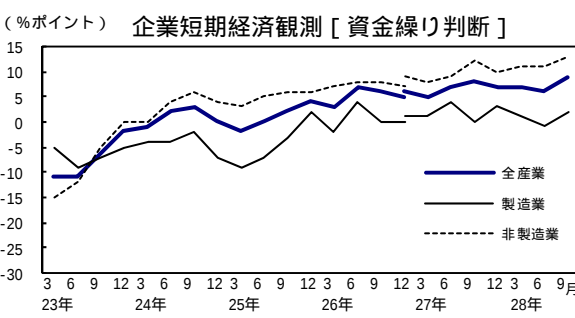
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 7～9月期、9月は速報値。

(2) 企業動向の業況判断は、「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ拡大している。

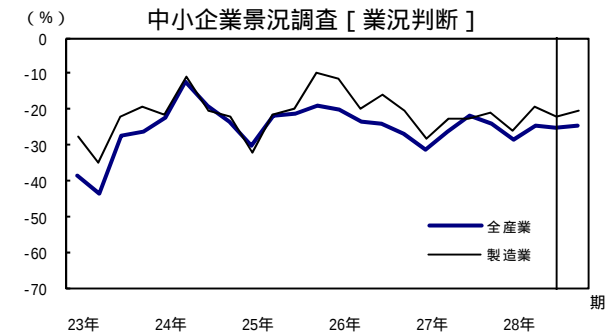
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」回答者数構成比。28 年 12 月は予測。
26 年 12 月は新・旧基準を併記。



(備考) 「楽である」 - 「苦しい」回答者数構成比。
26 年 12 月は新・旧基準を併記。

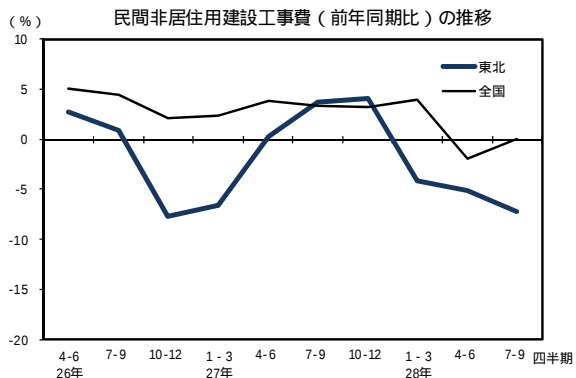


(備考) 「好転」 - 「悪化」回答者数構成比。28 年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (10 月調査結果) [企業動向関連 (現状)]

「年末に向けて、中小の製造業は仕事量が増えている (電気機械器具製造業) 」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は、減少している。



企業短期経済観測調査 [設備投資 (9 月調査)]

(前年度比、 %)

	27 年度実績	28 年度計画
全 産 業	▲10.5	12.8 (▲0.3)
製 造 業	▲11.1	26.2 (▲2.8)
非 製 造 業	▲10.0	▲1.1 (3.3)

(備考) () は前回 (6 月) 調査比修正率。

(2) 東北

2. 需要の動向

(1) 個人消費は足踏みがみられる。

地域別消費総合指数（RDEI（消費））

7月は前月比0.9%増、8月は同1.0%減、9月は同0.1%増となった。

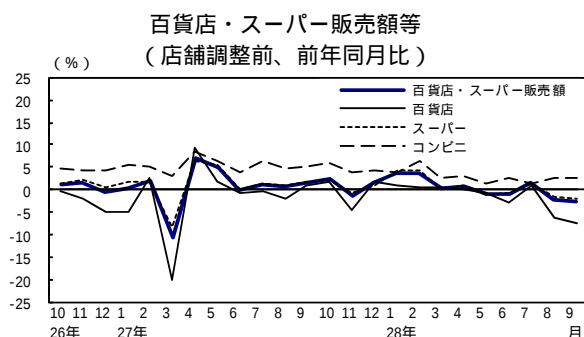
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、衣料品ではクリアランスセールにも動きがみられ、紳士スーツや婦人ブラウスが好調で、前年を上回った。8月は、土日祝日数の減や天候不順などにより衣料品の弱い動きが続いたことなどから、前年を下回った。9月は、天候不順などから衣料品は弱い動きが続き、飲食料品の動きも鈍かったほか、婦人ハンドバッグや靴、防寒具類もふるわなかったことなどから、前年を下回った。また、百貨店の一部で衣料品の大型特需があった前年の反動減が見られた。

スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

景気ウォッチャー調査（10月調査結果）[家計動向関連（現状）]

「ここ数か月、客の節約志向が続いており、売上増加につながらない。そのため、毎月同じような売上の推移となっている（住関連専門店）」など「変わらない」とする回答が増加した。

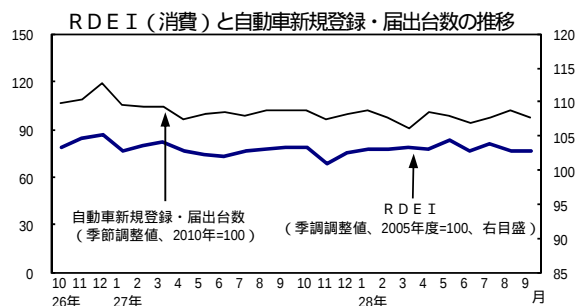


	28年7-9月	28年7月	8月	9月
RDEI（消費*1）	▲0.2	0.9	▲1.0	0.1
百貨店・スーパー(*2)	▲1.1	1.4	▲2.1	▲2.8
百貨店(*2)	▲3.9	1.1	▲6.2	▲7.6
スーパー(*2)	▲0.6	1.4	▲1.4	▲1.8
コンビニ(*2)	2.1	1.4	2.5	2.5
乗用車(*3)	▲2.0	▲3.5	1.1	▲2.8
（季節調整値）(*3)	0.3	4.1	3.8	▲4.0

（備考）1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

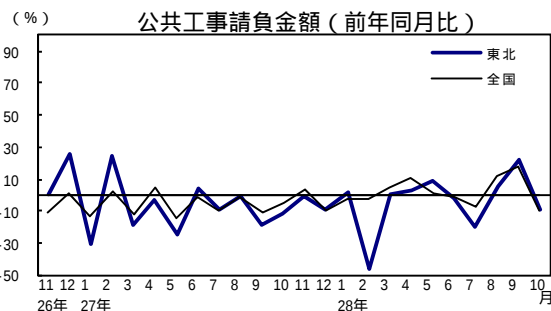
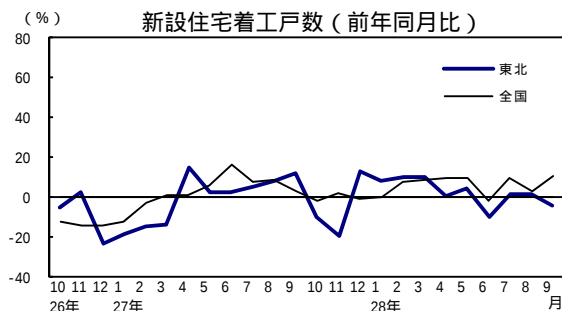
3. 乗用車は、新規登録・届出台数（上段は前年同期(月)比(%)）



(2) 住宅建設は、おおむね横ばいとなっている

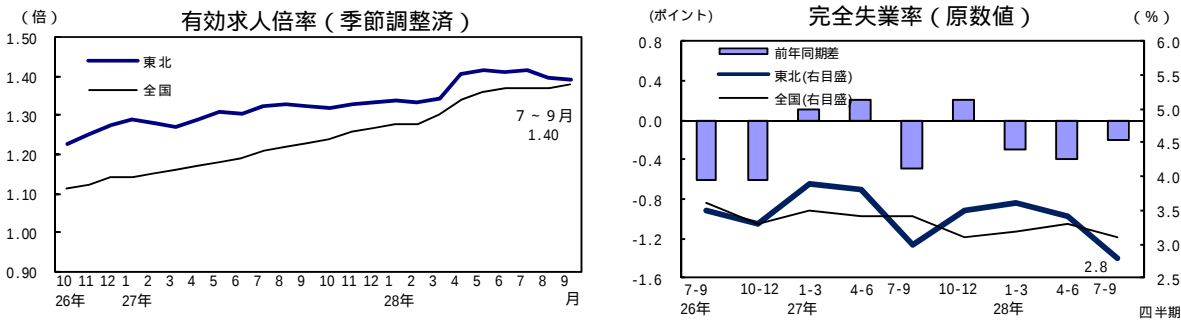
分譲が前年を上回ったものの、貸家が下回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は、28年度累計で見るとほぼ同水準となっている。



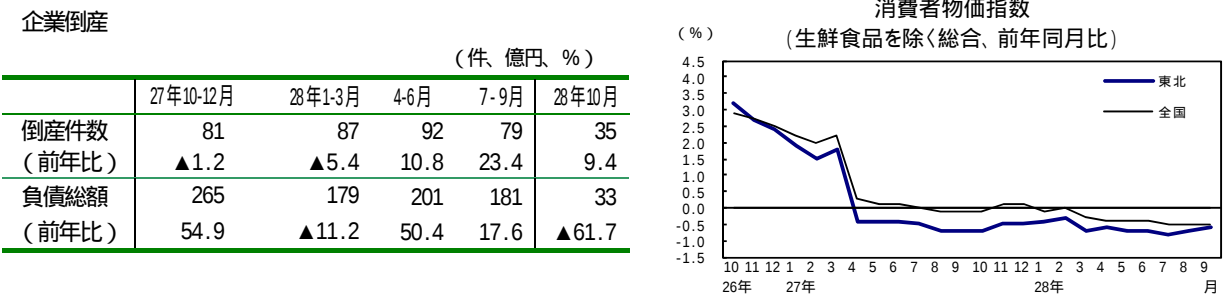
3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は着実に改善している。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は低下している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (10 月調査結果) [雇用関連 (現状)]
「国体関連の影響で、宿泊業や一部の飲食店が好調であり、求人数も増えている (新聞社 [求人広告])」などの回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。
(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。



- 景気ウォッチャー調査 (10 月調査結果) [合計 (特徴的な判断理由)]
<現状>
・クールビズが終了し衣替えとなるタイミングであるが、気温が高いままで推移している。そのため、客はコートなどを購入する意欲が少なく、10 月の紳士服業界としては痛手である。また、来客数においても苦戦している (衣料品専門店)。
<先行き>
・ここ数か月先の予約状況や、周辺の飲食店の動向からは、前年に比べて早い時期からの予約が取れている。また、大型予約も入っているため、景気はやや良くなっていくとみている (高級レストラン)。

